

安濃っ子だより



平成30年4月21日

津市立安濃小学校

新学期がスタートしました。保護者、地域の皆様、1年間よろしくお願いします。

安濃小学校は、24名の1年生を迎え、全校児童198名で、平成30年度の1学期をスタートしました。

本年度も、本校の教育活動にご理解とご支援をいただきますようよろしくお願いします。

学校教育目標について

昨年度に引き続き、「人権を大切にし、自ら進んで学び、心も体も豊かでたくましい子どもの育成」を学校教育目標として取り組みます。また、一人ひとりの子どもを大切に、子どもたちにとって楽しく、安心・安全な学校・学級づくりを心がけていきます。詳しくは、裏面をご覧ください。

自由参観について

ご希望の方は自由に参観をどうぞ

普段の授業等の参観を希望される方は、いつでもどうぞお越し下さい。その際には、必ず職員室に声をお掛けください。『参観中』という札をお渡ししますので、それを名札として自由に参観をしていただけます。

また、6/16（土曜授業日）と10/11（木）を自由参観日とします。多数の皆さんの参観をお待ちしています。

安濃小学校校のホームページについて

安濃小学校のホームページのアドレスは以下のアドレスです。

<http://ednet.res-edu.ed.jp/s-ano/> です。
随時更新をしています。ぜひご覧ください。

年度はじめのお願い

毎年お願いしていますように、集団下校の途中でお迎えに来ていただくと、人数が少ない班では、急に一人になってしまうことも考えられます。お迎えの場合は、事前に連絡帳等で必ずお知らせ下さい。下校グループを組み替えるなどの対応をします。〔一人になってしまう児童にはお迎えをお願いするなどの対応をしている場合があります。〕

平成30年度の安濃小学校職員です。

校長：小林 啓 教頭：木平 真弘

1年担任：山路千代子

2年1組担任：信藤さゆり

2年1組担任：奥田隆広

3年担任：杉井 誠 4年担任：加藤真由子

5年担任：金邊洋平 6年担任：鈴木ひとみ

学習室担任：佐藤充弘、池上友記子、後藤大輝
いろいろな教科を担当する専科教員：

小林明美、坂倉洋子、橋村弘生、生駒知裕

養護：後藤美由記 事務：木澤正人

児童支援員：山田恵子、鹿間恵美、笠井祐子

学級支援サポーター（月、水、木）：林 妙

用務員：萩原善洋

調理員：池村和美、淵本麻里子、岸田真由美

図書館司書（水）：鈴木律子

A L T（毎月2～3回来校）：ディーン・ハイン

スクールカウンセラー：早川史乃

1年間どうぞよろしくお願いします。

※スクールカウンセラーのお知らせ

1学期のスクールカウンセラーの安濃小学校への来校予定日は以下の通りです。相談希望などがありましたら担当の後藤（養護）までお電話等でお知らせください。

・5月23日（水）1日中来校

・6月11日（月）1日中来校

・7月2日（月）午前中来校

〔裏面もご覧ください〕

1 学校教育目標

「人権を大切にし、自ら進んで学び、心も体も豊かでたくましい子どもの育成」

2 めざす学校像

- (1) 人権尊重の精神を基盤に、「確かな学力」「豊かな心」「たくましい体」の育成をめざす学校。
- (2) 地域の自然、歴史、文化や人々などの豊かな教育的環境を生かした特色ある教育を推進し、子どもの健やかな成長を支援する、安全で安心な地域に開かれ信頼される学校。
- (3) 教職員集団が一人一人の子どもに寄り添い、切磋琢磨して授業づくりや仲間づくりを充実させる学校。

家庭学習を見直しながら学力向上に努めます。

- (2) 豊かな人間性を育み、人権感覚に富んだ豊かな心の育成を図る学習や活動を推進します。
 - ① あらゆる教育活動で、「他者の思いを聞いたり、自分の思いを伝えたりする」ことを大切にし、子どもどうしのつながりを深め、「寄り添い自分もまわりもほうっておかない関係づくり」に努めます。
 - ② 読書活動の推進を通して、豊かな人間性を育むことに努めます。

3 重点目標

- (1) 一人ひとりの児童に応じたきめ細かな指導を充実させ、わかる授業を実践することで基礎学力を定着させ、「確かな学力」を育成する。
- (2) 自他の生命を大切にし、豊かな人間性を育む心の教育の充実を図り、人権感覚豊かな児童を育てる。
- (3) 基本的な生活習慣の確立を基盤に、健康教育や食育の取組を通して、自らが健康でたくましい心や体をつくることのできる児童を育てる。
- (4) 学校の教育実践を積極的に発信し、外部からの意見や評価を学校運営の改善に活用して、家庭や地域に開かれ、信頼される安全・安心な学校づくりを推進する。

- (3) 健康教育や食育の取組を進め、児童自らが心身の健康を向上させる意識を高めます。
 - ① 健康に関わる授業実践や、学校保健委員会への保護者の参画、生活リズムカードの取組など、子どもや保護者と協働して、健康でたくましい心や体を育てます。
 - ② 食育の授業実践を充実させ、児童自らが食生活を振り返り、充実させる取組を進めます。

4 具体的な行動計画

- (1) 一人ひとりの子どもへの教育的支援を充実させ、基礎基本の定着を図ります。
 - ① 児童のニーズに応じた教育的支援を充実させます。
 - ② 特別支援教育の充実に努め、特別支援教育推進委員会を中心に児童の支援や学級経営に努めます。
 - ③ 算数科を中心に、「基礎学力の定着をもとに活用する力の向上を目指して」を研究主題として授業づくりを進め、児童の実態に即した授業改善に取り組み、

- (4) 学校関係者評価を改善に活用し、家庭や地域と連携して、安全・安心な学校づくりに努めます。
 - ① 学校関係者評価を活用して改善に努めるとともに、地域の人材を活用して、より良い子ども支援を行い、信頼される学校づくりに努めます。
 - ② 多様な機会を捉えて保護者や地域との交流や連携を深め、安全ボランティア活動・図書館ボランティア活動との協働にも努めます。
- (5) 職員の勤務環境を整え、元気に児童と向き合うことのできる教師集団を目指します。

〔表面もご覧ください〕